

令和六年 七宝会

# 普及公演



麒麟も老いぬれば  
駑馬に劣るが如くなり



盲目とさへなり果てて  
生をもちかへぬこの世より  
中有の闇に迷うなり

◆十二月十四日(土)

第一部 十五時開演 第二部 十八時開演

◆枚方市総合文化芸術センター本館

関西医大小ホール

●第一部

一調「土蜘蛛」 辰巳大二郎

狂言「伊文字」 野村 萬齋

能「弱法師」 辰巳満次郎

●第二部

一調「葛城」 辰巳 和磨

狂言「磁石」 野村 萬齋

能「景清」 辰巳満次郎

最も古典にして、  
最もアヴァンギャルドな芸能  
能楽をみなさまに

七宝会 宝生流



【番組】

◆第一部

辰巳満次郎 × 野村 萬齋

辰巳大二郎 太鼓中田 一葉

◆「弱法師」 よろぼうし

河内国(現在の大阪府八尾市付近)の住人・高安通俊は、かつてわが子を追い出してしまった悔恨の念から、罪滅ぼしのため、四天王寺の境内で貧者たちへの施しをおこなっていた。そこへやって来た盲人、弱法師。その風流心ある様子に、通俊は、彼こそわが子だと気づく。やがて日没の時刻。春の彼岸にあたる今日、難波浦に面したこの寺の西門には多くの人々が集い、沈みゆく夕日を見て西方浄土に思いを馳せる日想観をおこなっていた。弱法師もまたその座に連なると、盲目の身ながらも、夕陽に照らし出された浦の致景を心に思い描き、興に乗じて舞い戯れはじめた。しかし彼は通行人と衝突して転倒し、盲目という現実打ちのめされてしまう。やがて夜になり、父だと名乗り出た通俊。今の姿に恥じ入る弱法師だったが、通俊はそんな息子の手を引き、わが家へ連れて帰るのだった。

【お問い合わせ】  
◆七宝会  
072-831-3206

「解説」  
「土蜘蛛」

女 野村 萬齋 主岡 聡史

後見 野村太一郎 修一

「弱法師」

俊徳丸 辰巳満次郎 大鼓辻 芳昭  
高安通俊 福王 和幸 小鼓荒木 建作  
通俊の 中村 修一

後見 中村 修一 貞光 義明

◆第二部

辰巳満次郎 × 野村 萬齋

辰巳 和磨 太鼓上田 慎也

◆「狂言」 「磁石」

遠江國見附の国府(静岡県磐田市界隈)の者と名乗る男が、京の都へ奉公の旅に出る。道中、熱田の森や琵琶湖を経由して近江天津の松本へ差し掛かると、賑やかに市が開かれている。商店を見物して歩いているところへ、都の素っ破(詐欺師)が近付いて言葉巧みに騙して宿を紹介し、人商人(人買い)に売り付けようと企てるが...

「解説」  
「葛城」

すっぱ 野村 萬齋 田舎者 野村太一郎

宿屋 中村 修一 後見 岡 聡史

「能」 「景清」

豊七兵衛 辰巳満次郎 大鼓山本 哲也  
景清 人丸の 辰巳 孝弥 小鼓久田舜一郎  
従者 人丸 石黒 実都 笛 貞光 訓義  
里人 福王 和幸

後見 岡 聡史

日時 令和6年 12月14日(土) (二部公演)

第一部 15時開演(開場 14時半) 第二部 18時開演(開場 17時半)

会場 枚方市総合文化芸術センター 本館 関西医大 小ホール

料金 指定席 4,500円 自由席 3,500円 学生 2,000円

(一部・二部通し)指定席 8,000円 自由席 6,000円



【チケット申し込み】  
《指定席・一部二部通し》  
◆七宝会  
072-831-3206  
10月15日(火)より  
販売開始

《指定席・一部二部通し自由席・学生》  
◆枚方市総合文化芸術センターチケットデスク  
|WEB| <https://hirakata-arts.jp/ticket/>  
|TEL| 0570-008-310 (ナビダイヤル 10:00~17:00 / 休館日を除く)  
|窓口| 本館窓口購入 (10:00~20:00 / 休館日を除く)  
11月1日(金)より販売開始

枚方市総合文化芸術センターチケットデスクはこちら



会場のご案内



枚方市総合文化芸術センター 本館  
関西医大 小ホール  
大阪府枚方市新町2-1-60  
京阪電車「枚方市」駅から徒歩約5分